

令和5年9月19日

保護者の皆さま

花小金井南中学校
校長 堀井賢治

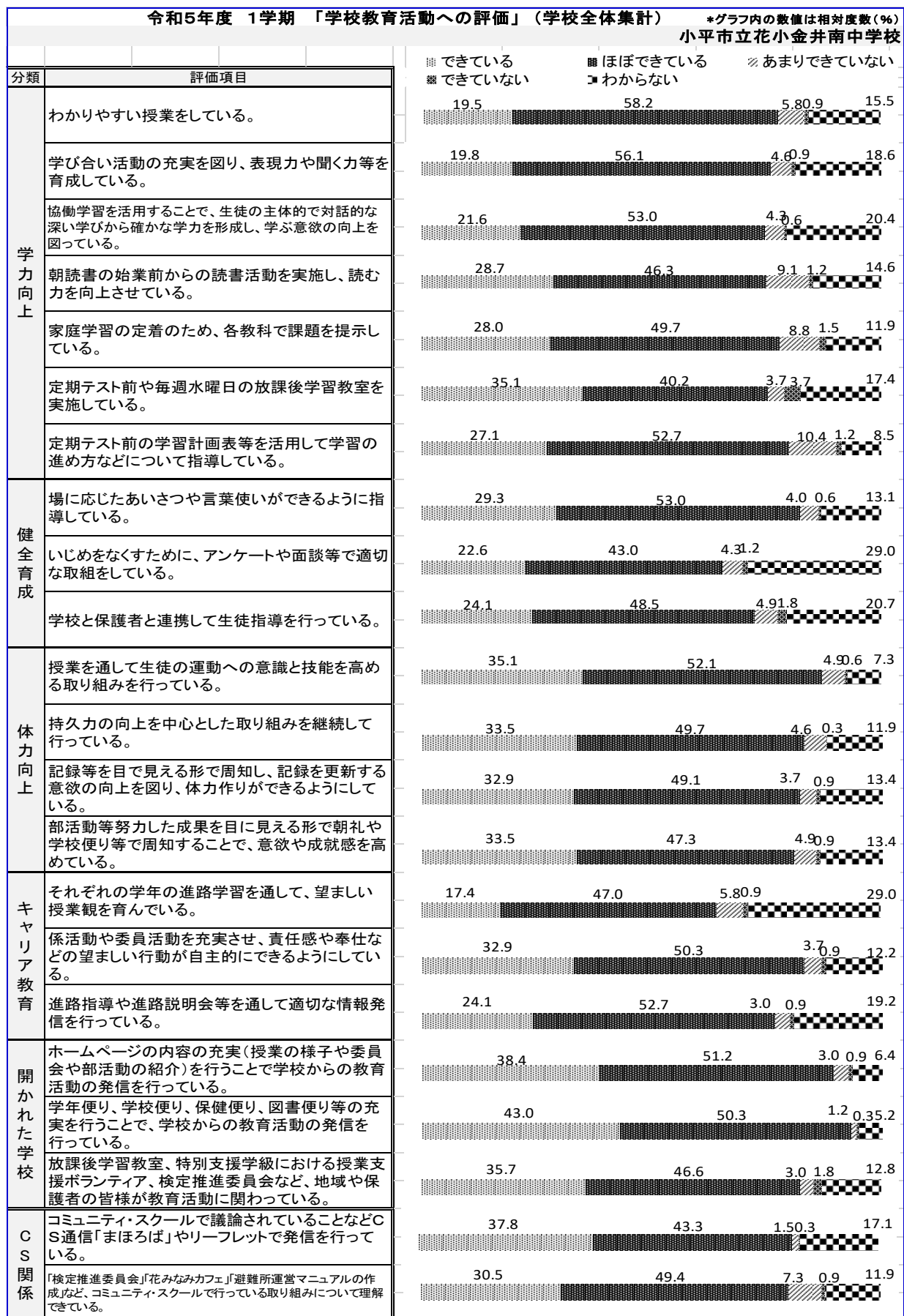
1学期学校教育活動への評価のまとめ

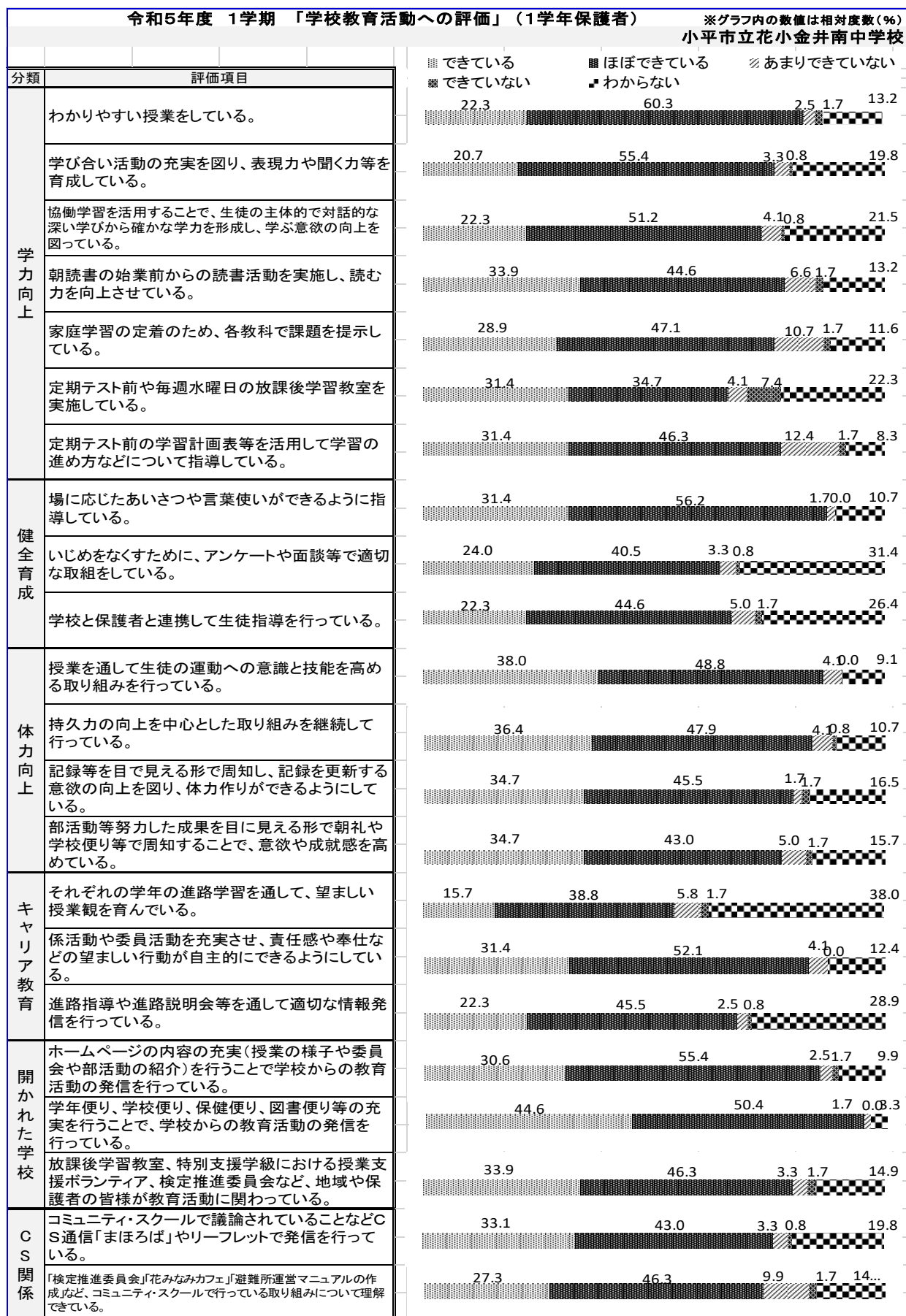
初秋の候、保護者の皆さまにはご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

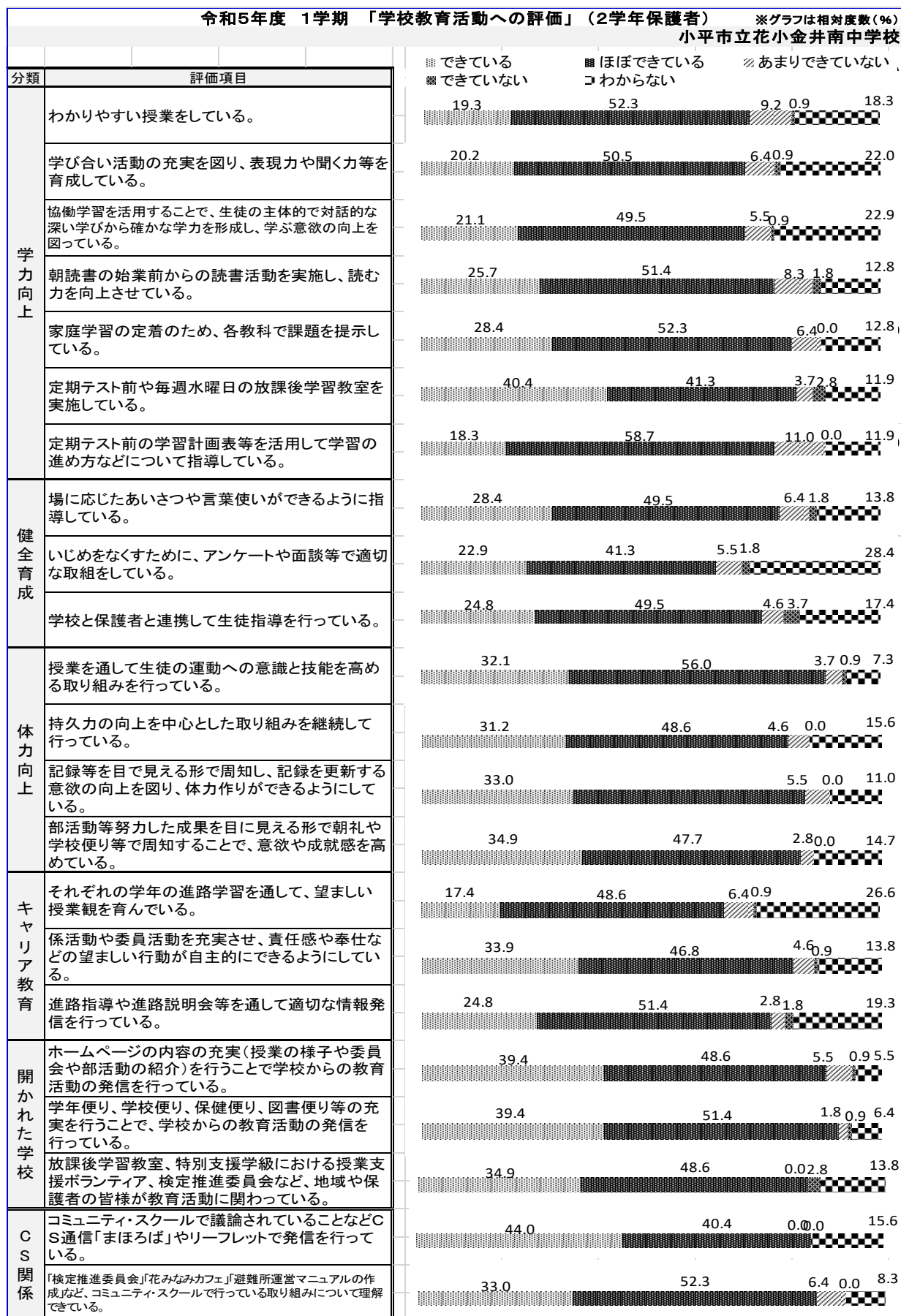
さて、6月にメールにて1学期学校教育活動への評価についてご協力をお願いしたところ、多くの保護者の皆さまにご回答をいただき、感謝申し上げます。7月の段階でご回答いただいた内容等についてまとめましたので、ご報告いたします。

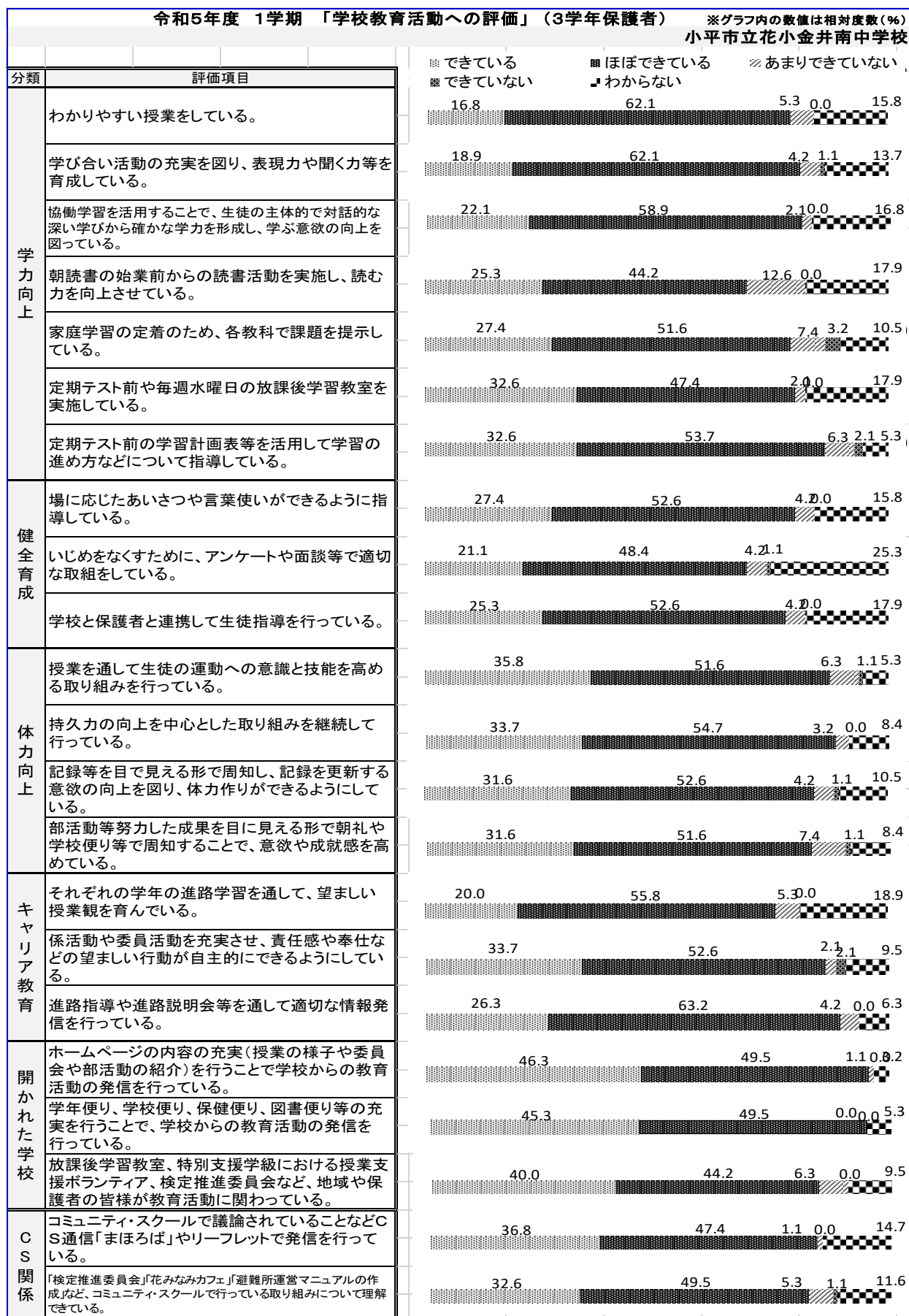
「あまりできていない」という回答が10%を越えているのは、学力向上の定期テスト前の学習計画表を活用して学習の進め方などの指導をしているという質問でした。特に、1,2年生の保護者の方はそのように感じていることがわかります。家庭学習の習慣化や定期テスト前の学習など、学力向上に向けた取り組みについて、生徒の主体的な活動につながるように、今後も指導していきます。開かれた学校や今年から取り組んでいるコミュニティ・スクールについても、理解が進んでいると感じます。ありがとうございます。さらに保護者の皆さまに安心していただけるような学校となるように開かれた学校をめざし、教育活動を進めていきます。今回も、質問事項にお答えいただくだけでなく、自由意見もいただきました。自由意見については、全体に還元できるようなご意見については、学校としての回答をお示ししてありますので、ご確認ください。貴重なご意見は今後の教育活動に役立てていきます。不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

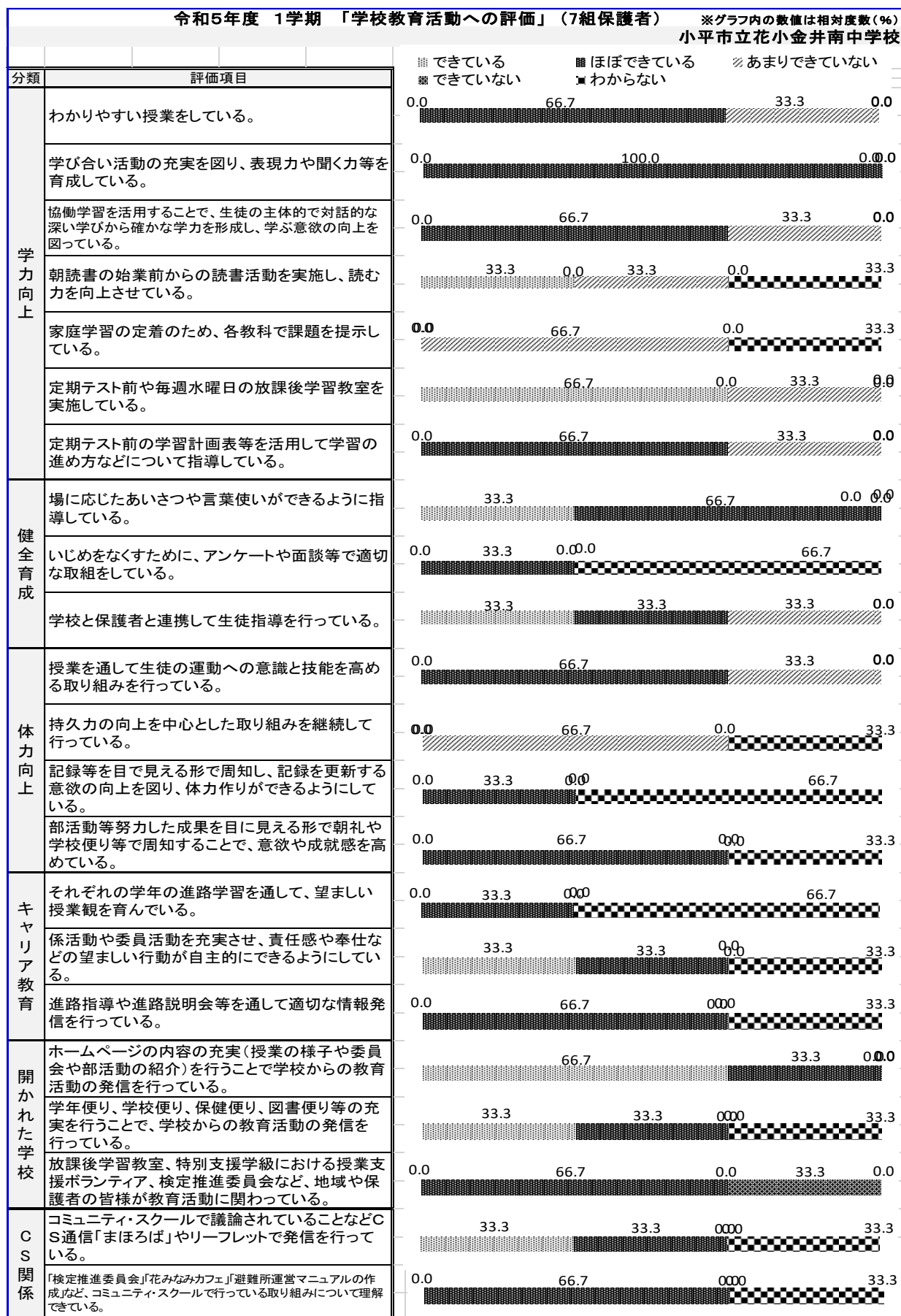
今後も、開かれた学校をめざして教育活動を進めていきますので、ご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いします。











令和 5 年度 1 学期 学校教育活動への評価 自由意見

1 【アンケート項目に回答しにくい】

2 【感謝のことば】

- いつもありがとうございます。行事等もコロナ前に戻ってきてくれて親子共々喜んでいきます。
- いつもありがとうございます。先日、3 年生に向けた進路説明の動画ですが、大変分かり易かったです。他学年にも配信して下さいありがとうございます。 今後どうぞ宜しくお願い致します。
- いつも子供たちのために先生方は忙しい中、沢山のお時間作っていただき、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- いつも子供達のためにありがとうございます。
- いつも生徒たちのご指導ありがとうございます。
- いつも大変お世話になっております。

修学旅行も 3 日間付き添ってくださり、感謝の気持で一杯です。本当にお疲れ様でした。

- いつも熱心で丁寧なご指導をありがとうございます。担任の先生、校長先生、たくさんの先生方に、気にかけていただき、嬉しく感謝しております。また、PTA 役員、ボランティア、地域の方たちにもとてもお世話になっております。皆さまのおかげで、子どもは、毎日楽しく充実した日々を過ごすことができています。本当にありがとうございます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。
- いつも熱心に指導していただきありがとうございます。
- いつも有り難うございます。子どもは楽しく学校へ行っており、家でも学校や先生の話を楽しそうに話しています。体育祭も素晴らしかったです。小学校では安全面から、騎馬戦がなくなってしまったので今回騎馬戦ではないものの、子ども達の熱い闘いがみられて感激でした。
- コロナ前のように参観できることを、嬉しく思っています。
- 学級通信をととても楽しみにしています。学校での様子がとてもよくわかり、安心してお任せできます。毎日楽しく学校に通えている事にととても感謝しています。
- 細かな情報、様子までお知らせくださり、子どもたちの様子が見えて安心しております。
- 修学旅行のメールを見てもわかるように、生徒間の調整や、これまでの経験から、生徒の成長が目に見えて分かる気がします。素晴らしい先生と生徒の信頼感が伺えます。このまま残りの学生生活を楽しんでもらえたらと思いました。
- 先生方のお声掛けやお話で、子供は前向きになれたり温かい気持ちになれたりしています。いつも子供達を支えてくださりありがとうございます。先生方の業務量が多く大変だと思いますが、普段の教科ごとの課題や定期試験前の学習計画など、しっかりと丁寧に学習指導をしていただき大変ありがたいです。
- 毎日子どもたちのためにありがとうございます。上の子の時から南中に通っています。その時から、先生方、学校全体の雰囲気も良く、子どもたちに積極的に関わっていただいていると感じています。
- 朝読書は家で読まないで助かっています。先生から薦めてもらった本が面白かったといっていました。
- 運動会が終わり、現在は修学旅行に向けて充実した日々を過ごしている様子です。先生方の熱心なご指導に感謝しています。

【回答】 コロナが感染症法上 5 類となり、学校での教育活動も多くの制限がなくなりました。コロナ禍で工夫して取り組んできたことを検証しつつ、コロナ禍以前にできていたことに戻していくという試行錯誤をしながらの 1 学期でした。これはこの先も続いていくことだと思います。保護者の皆様のこのようなお言葉は私たち教職員の大きな励みとなります。今年度に入って、過去 2 年間にできなかった取組を実施することができていま

す。今後も皆さまのお言葉に甘えることなくまた、ご意見をしっかりと受け止めて、さらに信頼される学校となるように教育活動を進めていきます。

3 【学校公開】

4 【生活指導】

○6月2日のことです。運動会や体力測定が終わり、標準服登校に戻った日だったのですが、その日は荒天とのニュースが多く報じられていました。にも関わらず、ジャージ登校を選べず、容易に洗濯できない上に、翌日も着用する標準服で、びしょ濡れでの下校となりました。1年を通して、生徒は自身の体温調節のしやすいようにと、夏服冬服を検討出来るようになりましたが、あまりに悪天候が予想される日には、天候に合わせ、また登下校時の自己の安全のためにも、必ずしも標準服でなくとも良いのではないのでしょうか。もし先生方が、びしょ濡れになったスーツで帰宅した後、それを夜に乾かして翌日も着るとなったら、なかなか苦痛かと思います。

また、先にも書きましたが、登下校時の安全面においても、傘が煽られるような日には、動きやすい服装の方が断然良いと思います。傘をさすことで事故発生率が上がることと、夏の日傘はNGと以前お聞きしました。それくらい傘使用時の安全面への配慮をされているのであれば、悪天候の日こそ、身軽に動ける服装を選択することは、決して悪い判断ではないはずです。

もちろん、式典や特別な理由があって標準服であるべき日は、そう然るべきと心得ております。ぜひご検討いただけるとありがたいです。

○いつもご指導ありがとうございます。寒い時期のコートについて、スクールコート(ダッフルとPコート)だけでなく、黒、紺色指定で無地の中綿入り軽量ダウンも認めて頂きたいです。洗濯も出来ますし、ロッカーでもコンパクトに収納出来る物が実用的だと思います。ダッフルコートを通学用に用意しましたが、重くて扱いにくいです。また、部活で購入したウインドブレーカーも登校時に着用許可していただきたいです。冬は、コートを着て、ウインドブレーカーとジャージ体操着を持ち、大荷物で登校しています。風紀は乱さない範囲で防寒が出来れば、コートでなくてもよいのではないかと感じます。

【回答】天候によって標準服とジャージのどちらかを個人の判断で選択するというものについては、これまでも検討されていませんでした。台風やゲリラ豪雨など、最近の天候については、異常気象と思われるようなこともあり、そのようなことで、翌日の登校までに洗濯や乾燥が間に合わないようなときには、ジャージで登校していただいて結構です。また、登校時にどちらかを判断して登校するというものについては、校内でも検討し、改めてご回答させていただきます。

冬の時期のコートについても、ご意見をいただいたことを受け止め、学校に収納場所がないということから、コンパクトに収納できる軽量ダウンを防寒着として活用するという視点については前向きに検討します。

日傘については、登下校の暑熱対策として有効であると考えています。1学期の終業式で、使い方の指導をした上で、2学期以降の使用については個人の判断として認めていきます。

○校則の中にいくつか時代や、多様性、価値観に合っていないものもあるように感じられ、生徒や保護者の意見も含め柔軟に検討していく機会があってもいいのではないかと思います。

【回答】ご指摘の通りだと思います。多くのメディア等でこのような話題を取り上げていることで、保護者の皆様も考えていただいているのだと思います。学校がこれまで担っていた役割として、「ある程度形を整えて、生徒がやるべきことをそろえて指導していく」というものが変化してきているのだと思います。本校は、校則というものではなく、「みんなの約束」という学校内で集団生活する中で、安全に生活していくための約束ごとがあります。特に、毎回学校評価アンケートで話題となる服装については、保護者の皆様もご意見を踏まえて、コミュニティ・スクール(学校経営協議会)でも話題にしていきたいと思っています。

○いじめや学校で辛い思いをしている生徒が、もう少し助けを求めやすい仕組みがあるとありがたいです。成長するほどに自分から助けを求めにくくなるかと思いますので（中学生は人間関係が複雑、且つ大人に伝えることによってより状況が悪化するケースも多々あるなど）。

◎小学校のように定期的にいじめアンケートを実施する◎職員室直通目安箱など…。中学生になると自分は無関係な他人のいじめ等をわざわざ伝えてくれる可能性は低いかもしれません。

○いじめをなくすための、先生方の取り組み、子どもたちへの対応の仕方に理解できない点を感じます。

○健全育成 生徒への聞き取りは、必ず第三者の大人のいる時に行って欲しい。

【回答】「いじめは絶対に許さない」という姿勢で生徒への働きかけや対応をしています。ふれあいアンケートなどや生徒との二者面談、連絡帳へのコメント、スクールカウンセラーとの全員面談（1年生）など、いじめだけでなく、生徒の悩みなどが伝えられる場面をできるだけ確保しています。ご指摘のように、思春期となり、自分の気持ちを伝えたり、助けを求めたりすることが難しいことも想定されますので、日々、生徒の様子を丁寧に見ていくことを心掛けていきます。ご家庭でも気になるようなことがあればお知らせください。また、生徒への聞き取りは、原則として別室で複数の教員で行うようにしています。どうしても対応する生徒が多い場合や、職員の体制として難しい場合もありますが、生徒の気持ちが伝えやすいような環境を整えるようにしています。

○教科書などの荷物がとても多く、通学リュックがかなりの重さになっています。普段家で使わない物は学校に置けるようになると助かります。

○いつもご指導ありがとうございます。ご相談ですが、毎日の荷物の重さが心配です。たまに首や肩、頭が痛くなるようです。身体が小さいので負担が大きいのではと気になっております。

【回答】これまでも同様のご心配をいただいております、以下のような回答をさせていただきます。

令和3年度の新学習指導要領への改定に伴い、教科書や資料集などのサイズが大きくなりました。毎日の登下校での負担が大きくなっていることはよくわかります。そのようなことを受けて、学校では、貴重品等でない限りすべて学校に置いて帰って良いということにしています。テスト前などは、多くのものを持ち帰らなければならないと思いますが、その日、家庭学習で必要なものを持ち帰るようにお子様に学校でも再度指導します。ご家庭でもお伝えください。

5 【委員会活動等】

○一部の生徒が、役員、学級委員を独占している様にしか見えない。一年間で一度経験したら、二度目は無いようにして、他の人も沢山参加出来るようにきちんと枠組みを作るべきだと思います。沢山の人が色々な視点で学級作りに参加したほうが、よりクラスの多様性が開かれていくと考えています。

【回答】ご意見ありがとうございます。これまでも、学校評価アンケートでこのような生徒の委員会等の選考方法等についてご指摘をいただいております。これまでの回答の繰り返しとなってしまっていますが、以下の考え方で進めています。ご理解いただければ幸いです。

生徒にさまざまな経験をさせて自信をつけさせたいということが学校の経営方針であり、委員会の役割もそのひとつであると考えています。できれば多くの生徒に経験させたいという気持ちは私たち教師にもあります。一方で生徒会活動や委員会活動に伝統的に力を入れている本校では、前回の生徒会や委員会で創り上げた伝統をさらに良いものにしていくとする生徒の思いがあります。そのため、各クラスで委員会の担当を決める際には、それらの思いを踏まえて生徒同士で気持ちを伝え合い、決定していくという流れができています。結果的に同じ生徒が同じ委員会の担当者になるということも起こりま

す。それでも多くの生徒が納得できる形で選考される今の形は継続していくことになります。せっかくやりたいと思っていたのに、できなくて残念な気持ちが残る生徒がいることも事実ですが、役割は委員会活動だけではありません。そのような生徒にはやりたいと思う気持ちを大切にしながら、別の場面で役割を担えるように声掛けができるように努力していきます。クラスの班長は、学年や学級経営の中で重要な役割を担っています。中学校は小学校とは発達段階が異なり、クラスの全員が班長の役割を体験するということはありません。それでもできるだけ班長を経験させ、学年や学校のリーダーを育てていきます。

今回いただいたご意見では、同じ生徒が複数の役割を担っていることなども配慮してほしいというご指摘だと思います。委員会の委員や班長等の選考方法については、すべての生徒に役割を担う機会がありますが、希望をすべて叶えることは難しいです。さまざまな場面で生徒のリーダーシップを育てることや、生徒がやりたいと思う意欲を失わせるようなことのないように、働きかけていきます。一人の生徒が多くの役割を担うことに関しては、今後配慮できるところは考えて進めていきます。

○学級委員の活動について。学級委員の活動ですが、クラス内での私語や忘れ物、欠席、授業態度を正すことが主な活動なのでしょうか？もちろん、クラスをまとめる、先生からの指示を受けて活動するものだと思いますが、私語や忘れもの、欠席繰り返される態度の悪さに関しては、個人の問題も多いと思います。どの時代にもある一定数規則を守れない生徒もいるかと思いますが、それを学級委員がまとめられてないというのは、負担が大きいと思います。義務教育を受ける上で、平等に学ぶ権利、社会性を持つべき権利はあると思います。それを逸脱するのであれば、ある程度先生からの個人への指導は必要だとも思います。また、保護者への協力を得ることも必要ではないでしょうか？

先生からのトップダウンが必要な時もあると思います。委員としての責任もあるかとおもいますが、それも仕事になるのであれば、あらかじめインフォメーションすることも大事ではないでしょうか？何でもハラスメントと言われ大変なこともあるかと思いますが、中間にたつ立場をクラス委員とするならばそれは負担が大きいと思います。

【回答】ご指摘のように、生徒の行動について、指導や助言をするのは、教員の役割です。保護者との連携という点もその通りです。では、学級委員の役割はといえば、これもご意見の中にあるように、よりよいクラスにしていくために、クラスをまとめるリーダーとして活動することだと思います。中学生は、発達段階として、「自分たちのことは自分たちの手で解決しよう」と考えるようになります。だからこそ、集団としての力が、個の支えになって、集団の成長が個の成長につながるのだと思います。

ご指摘の通り、学級委員であれば何とかしなければならないという責任感から、自分が努力しても問題が解決しないという状況になると、悩んでしまうこともあるのだと思います。実際には、生徒への個別の指導や保護者との連携については、進めています。学級委員の気持ちの負担が少なくなるように、学級委員がクラスのリーダーとして働きかけることを確認し、学級委員と学級担任とのコミュニケーションをしっかりと取るように心がけます。もし、お子様がこのようなことで悩んでいるようなことがあれば、ぜひご連絡をいただければありがたいです。

6 【部活動】

○バスケットボール部では、遠征先まで毎週保護者が自腹で車を出して送り迎えをしている。クラブチームでなく、部活なので、公共の交通機関で顧問帯同の上、移動させるべきです。改善して下さい。保護者の負担になっております。

【回答】部活動に関しては、保護者の方のご理解とご協力がなくして成り立たない活動です。部活動における生徒の成長は、中学生において、とても大きなものとなっています。部活動の地域移行などが議論されていますが、生徒の成長のため、顧問は勤務時間外の活動をボランティアで行っています。引き続きご理解とご協力をお願いします。

部活動における対外試合等の移動については、公共交通機関を利用することが大原則

です。もし、このようなことが慣例となっているのであれば、改善しなければなりません。万が一、自分のお子様以外の生徒を自家用車で試合会場まで連れていく、または試合会場からご自宅までの移動中に事故などがあれば、何かしらのトラブルとなることもあります。顧問の引率については、試合会場等や大会の役員等の関係などもあり、必ず生徒と帯同できるわけではありません。荷物の運搬など、場合によっては役員の保護者の方などをお願いすることもあるかもしれませんが、生徒については公共交通機関を利用した移動をするようにしていきます。

○ここ数年で気温も上昇しており、その変化に応じた対策も必要だと感じております。例えば、熱中症警戒アラートが危険レベルの時は、外の体育や外の部活動は中止にするなどしていただきたいです。

【回答】 暑さ指数（WBGT）が31以上となった場合は、運動は原則中止となっています。また、暑さ指数が28～30のときは、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。というガイドラインを参考にして教育活動を行います。

これまでの経験から、当日の暑さの心配と共に、本人の体調が心配されます。発熱だけでなく、寝不足や朝食を食べていないなど、熱中症との関わりは大きいと感じています。ぜひご家庭で生徒本人の体調をしっかりと把握していただきますようご協力をお願いします。

7 【保健体育】

○体育 体調不良の原因にもなっているようなので夏のアップでの走らせ過ぎは良くない。

【回答】 時期的なことや暑さ指数等を踏まえて、柔軟に対応していきます。

○いつもお世話になっております。2学年の保護者へのプール授業や準備物についてのお知らせがなかったのが残念でした。我が子は学校指定の水着が着られないのでかなり早くから準備はしていたものの、年間予定表とは違う日程で開始されたので、もし準備出来ていなかったらと不安になりました。子どもへのお知らせだけでなく、確実に準備が完了出来るようにプールだけでなく行事や授業で必要なものがあれば保護者にもお知らせして頂けると助かります。よろしくお願いします。

【回答】 早めにお知らせするように努力します。

8 【学習面要望】

○定期テストの問題で授業中に習ったこと以上の難しい問題があるのはなぜですか？授業の理解度を確かめるためのテストであるべきではないでしょうか。同じ校区として、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【回答】 学習評価として3つの観点がありますが、定期テストは、主に「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2つの観点を評価するための材料となります。ご指摘のように、授業で学習した内容についての「知識・技能」が身に付いているかを問う問題では、学習した内容を理解しているかどうかを見ているので、ご指摘のような問題はないと考えていますが、「思考・判断・表現」を問う問題は、すでに学習した内容から、どのように考えを深めて、判断したり表現したりしているかを見ているので、「習っていない」とか、「難しい」と思うこともあるのだと思います。特に、現在は、この「思考・判断・表現」がとても大切であると言われています。学習したことをただ覚えているだけでなく、学習したことを活用し、自分なりの考えや表現ができるような生徒の育成を目指していきます。もちろん、この力はテストだけでなく、普段の授業の取組の中で育てていくようにしていきます。

○先生方も手が回らないことかと思いますが、定期テストで点数低い生徒を対象に補講をしていただけたらな。と思います。放課後学習教室は自習なので、あまり効果がありません。根本的な学習の仕方を実践で教えていただけたらなと思います。

○テスト前にできてない子に対してもう少し指導があると良いかと思いました。わかってない状態でテスト勉強をしていて、結局何もできていないのをずっと見ていて変化もないので。テスト前の課題をする時間がないので、もう少し少なくして欲しいです。

【回答】放課後の時間も様々な活動があり、なかなか時間が取れないという状況はあると思います。授業の中で、小グループの学び合い活動などを取り入れ、生徒間の支えなども活用しながら対応しています。放課後学習教室が自習であり効果が低いということですが、地域のボランティアさんや時間のある教員もその場でわからないことや、テスト直しの対応もしています。ぜひご活用ください。また、各教科から出される課題については、毎年話題として上がりますが、校内でも教科間で調整をして課題を出すようにしています。普段からの積み重ねが大切になりますので、計画的に課題に取り組んだり、家庭学習したりできるようにご家庭での支援もお願いします。

○教科によっては映像での授業が多く、退屈に感じるとのことです。また、その感想を書いて提出し主体的な学習の評価に入れているとのこと。先生の生の声での授業、友達の意見を聞く授業をしてほしい。

【回答】授業におけるICT教材の活用については、各教室に設置されている大型TVや生徒用の学習者用端末などを利用して推進することが求められています。映像等をいかに学習の内容に結び付けていくかということが大切ということだと思いますので、今後とも授業改善に努めていきます。

○課題の取り組みについて、作業がゆっくりな息子にとってはかなりしんどかったように思います。慣れるのに必死な1学期でした。小学生の頃はどんどん筆記作業を減らす取り組みが進んでるのに逆戻りなんだなー、と感じています。そんなに書く作業が必要なのか、とも思っています。タブレットは中学で全然使わなくなってるみたいなので、タブレットの使用をもっともっと増やすべき、と感じています。せっかく使えるようになってるのにもったいないです。

【回答】中学生となり、小学校と比べて、日々の学習面での対応が大変だったと思います。学習者用端末の活用で、筆記作業が減ることの良さがあったということは、中学校の授業でもできることはありそうなので、参考にしたいと思います。一方で、ノートを作っていく中で、学習したことを自分なりに考えて、まとめていく力を育てていくことも大切であると思います。今後も両面で進めていきたいと思います。

○いつもありがとうございます。

学校に問題はないのですが、なかなか家庭学習をさせるのが難しく、試験前にも教科書すら持って帰らないので今後が大丈夫か心配です。

【回答】基本的に教科書等の持ち物は学校に置いておいてよいことになっていますので、必要な時に本人が持って帰るしかありません。テスト前などは計画表を作成するなど、学校としても学習を進めるためのサポートはしていますが、中学校3年間はあっという間です。心配な状況があれば、ぜひ担任にご相談ください。

9 【少人数授業】

10 【評価・評定・進路関係】

○実技科目において、評価が実技重視に偏りすぎでは？としか思えない科目があり、定期テストが60点で授業態度、提出物もよろしくないが実技が大変上手く、評定は5の生徒がいるかと思えば、定期テストで95点、授業態度も主体的で真面目、提出物もしっかり取り組み評価も良い、ただ実技がいまいち得意でなく評定は3という生徒も。特に主体的な態度につきましては達成度をどう数値化しているのか等、科目によっては評価評定がなかなか腑に落ちずにいます。

【回答】令和3年度から、学習指導要領が改定され、3年目となりました。実技教科の評価については、ご意見にあるような感覚をおもちの保護者の方もいると思います。

また、この意見とは正反対で、実技ができているのに、評価が低いというご意見もいただきます。

以下は昨年度この件について回答した内容に「主体的に学習に取り組む態度」の評価について付け加えたものです。

令和3年度から新学習指導要領に改訂されたことに伴い、評価の観点が変更されました。これまで、別の観点であった「技能」と「知識」が「知識・技能」というひとつの観点到まとめられました。これにより、実技教科では「技能」…実技と「知識」…筆記テストなどが同じ観点となり、実技ができているから評価がよくなるということが一概に言えなくなる傾向がさらに強くなりました。また、同時に「技能」…実技が苦手な場合でも、同じ観点到「知識」…筆記テストなどが組み込まれたことによりこれまでより、評価がよくなることもあります。

「主体的に学習に取り組む態度」については、学習に粘り強く取り組んでいる、さらに自分の状況を踏まえて調整しながら学習に取り組んでいることなどを評価します。「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点と結びついて考えられるようになっていきます。教科によって、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の材料などは異なっています。

現在の評価では、評定の3が多くなってしまいます。特に、実技教科でその傾向は強いのです。目標に準拠した評価ですので、結果として特定の評定の人数が多くなり、その評定の範囲が広いように見えてしまいますので、不公平と感じてしまうことはあるかもしれませんが、適切に評価を実施しておりますのでご理解ください。

各教科の評価材料やその割合などについては、教科担当にお問い合わせください。丁寧にご説明します。

○花南は近隣中、特に三中与比べるとあまりにテストが難しいと思います。三中でオール5の子でも花南のテストはわからないと言っています。逆に三中のテストは簡単すぎて、こっちに来ればもっといい高校に行けたのに、と本来行ける高校に行けなくなるのはかわいそうですし、将来に関わることです。もっとよく小平市の近隣中と関わりあい、情報交換して同じ教育を受けさせてください。先生の都合で子供の未来を壊さないでください。よろしくお願いします。

○定期テストが他校より難しく、内申が取りづらいと聞いています。特に実技のある副教科に関しては、生徒の個人の努力ではどうにもならないこともあるので、配慮いただきたいです。

【回答】定期テストの難しさについては、以前に以下のような回答をしています。

定期テストの平均点が低い状況などがあったときに教師自身が自分の授業や生徒への働きかけで足りないことがなかったのか検証することは必要なことだと思います。今後の授業改善の視点として受け止めさせていただきます。

新学習指導要領での評価については3つの観点となり、生徒の日々の活動を重要視す

るようになりました。テストの結果が成績に直結するというわけではありません。日々の学習の積み重ねの成果としてテストで確認することは大切なことですが、日々の学習活動への取組も大切です。そのあたりをしっかりとみて適切に評価していますのでご理解ください。

また、内申が他校に比べて厳しいという話は、これまでもご意見としていただいています。毎年各中学校の3年生の成績について、審査する会議を行っていますが、本校が特に厳しい評価となっているということはありません。

○高校受験を意識するために、定期テストの順位を本人もしくは保護者に通知してほしい。

○長距離走での順位は出るのに定期テストの順位が明確に出ないので自分が何位なのか分からない。個人の順位は出すべき(個人に分かるだけでいいので)

【回答】以前からも定期テストの順位を出してほしいということや長距離走との整合性についてご意見をいただき、次のような回答をしています。(一部修正しています)

【回答】意欲の向上ということであれば、人との比較で向上させることは難しいのではないかと思います。これについても生徒が主体的に学習に取り組むためにはどのような授業をしていけばよいかという視点で学校として取り組んでいます。現状の把握ということでは、定期テストでは平均点や得点分布グラフも出しているので、ある程度はお子様どれくらいのところにいるかは分かるようになっていきます。今後もテストの成績上位者を公表するようなことはしません。ご理解ください。

矛盾していると思われるかもしれませんが、持久走については、自分の記録をサポートしている生徒に伝えている中で、取り組んでいる活動です。あらかじめ記録が公になっています。サポートがあればこそ記録も伸びて生徒の自己肯定感は高まると考えています。持久走の結果を掲示していることも、他の生徒との比較という視点ではなく、生徒自身の成長を感じ、自信を付けさせたいという願いから行っています。

以上のことから、定期テストの順位を出すことは考えていません。進路についての意識を高めるための取組として、1年生の頃から、職業調べや上級学校調べ、進路説明会等を行っています。定期テストの結果や通知表で成績やお子様の課題等についてもお知らせしていますので、そちらを見ていただきながらお子様と話を進めていただきたいと思います。また、ご心配なことは、直接担任等にご相談ください。

11 【GIGA スクール関係】

○あまりパソコンを使っていないと聞いております。小学校で授業中や委員会、部活などでパソコンを多用していましたので、せっかくパソコンがあるのなら、使う機会を増やしていただければいいなと感じております。インターネットで勉強できるツールもたくさんあるかと思うので、家で使うために持ち帰りなどできるようにしていただけたら活用機会も増えていいかと思えます。

【回答】本校では、学習者用端末の活用については、他の文房具と同じように、自分が必要だと思うときに活用し、持ち帰りについても長期休業中以外は、個人の判断に任せています。今後、各教科で購入している副教材などが、学習者用端末でできるものに代わったり、教科書がすべてデジタル教科書に代わったりする日もそう遠くはないと思います。日々の変化に柔軟に対応できるように学校としても準備を進めていきます。

12 【検定試験】

13 【給食】

○給食について。食べる時間が短すぎるそうです。特に男子は沢山食べたいようです。おかわり分がおかずがなく、白米だけの時があり、味のない白米だけをおかわりして頂いてるそうで…。給食センター、学校、個人でも、ふりかけなどご用意していただけたら美味しくモリモリ食べれるのではないかと思います。

【回答】給食の準備に時間がかかる日もあるので、一概には言えませんが、中学生の給食の時間としては、十分に確保できていると思います。（4時間目終了から給食終了まで35分間あります）

基本的に、全員に同じだけの給食を配膳する量で各クラス振り分けられていますので、おかわりがあることが当たり前ではありません。もっと食べたいという育ち盛りのお子様の気持ちもよくわかりますし、夕方の部活動でおなかのすいてしまうことも分かりますが、いまのところ、ふりかけなどの用意は考えていません。

14 【学校行事】

○修学旅行の服装について、決まりごとの多い私服ならば制服にしてください。

○修学旅行の服装について細かなルールがあるのならば制服にしてもらった方がありがたいです。膝が隠れるパンツとの事ですが長ズボンでは暑いし指定の丈のパンツ流行っていないから探すのが大変です。修学旅行用に買い揃えるのなら制服で充分かと思います。

【回答】修学旅行や校外学習の服装については、標準服、私服にそれぞれメリットとデメリットがあります。今回私服での修学旅行や校外学習にした最大の理由は、7月や9月の実施ということで、暑熱対策（生徒の健康や安全）を考えて私服としました。修学旅行や校外学習は学校行事ですから、私服としても、それなりの場面に応じたものが必要になります。改めて買い揃えることの大変さがあるということですが、ご理解いただきご協力いただければありがたいです。

○運動会の日、校内でお弁当を食べてはいけないのなら、その旨を事前のお便りかプログラムに記載すべきではないでしょうか。今年は、記載が無かったので、お弁当を作って持参しました。そして、食べ始めたときに、「校内での飲食はやめるように、副校長先生から言われているので片付けてください」とPTAの運動会係の方から何度も言われ、大変不愉快でしたし、正直とても困りました。

【回答】運動会反省アンケートでも保護者の方の昼食の件については、ご意見をいただきました。事前の周知や当日の対応が徹底できず不快な思いをさせた地域・保護者の方も多かったと思います。申し訳ありませんでした。4年ぶりに制限のない形での運動会を実施することになり、細部にわたって行き届かない点があったことは次年度に向けた反省とし、改善していきます。

15 【学校の対応への要望】

○入学当初の1年時は、三者面談ではなく先生と保護者のみの面談でもよいのかなと思いました。日々お忙しい先生に、個別で時間を設定していただく程ではないけれど、学校や家の様子など、三者面談では聞きにくいことや伝えにくいこともあるため。

【回答】ご指摘のとおり、面談を三者にすることには、メリットとデメリットの両方があると思います。本人の前で聞きにくい、伝えにくい、本音の部分を保護者の方としても共有したいというところでは、保護者の方と担任との二者面談がよいかもしれませんが、まずは、保護者の方の前で、生徒本人が努力して成果をあげているところやこれから期待していることなどを三者で共有したいと思っています。もちろん、課題についても共有することで新たな目標設定などもできますので、ご家庭での話題としても三者面談での話は活用できるのではないかと思います。今年度より通知表の中で所見をなくしていることから、1学期の面談では、学校側からお子様の1学期の様子をお伝えする場として大切だと思っています。お子様の様子などについてさらに詳しく共有する必要があるときは学校からご連絡することもあります。ご家庭からも気になるようなことがあれば、いつでも各担任又は学年の教員などにご連絡ください。よろしくお願いします。

○体調や色々な要因で、登校が出来ていない生徒や家庭にたいしてもっと寄り添うか、新型コロナウイルスが緩和された昨今、不登校に対してもっと向き合う事を希望します。特に、授業だけではなく、配布物のデジタル化は早急に対応すべきと考えます。

【回答】不登校の生徒やご家庭に対しての対応については、それぞれの生徒の状況が違うので、毎週の校内特別支援委員会で、情報共有をし、対応についても検討して進めています。不登校生徒の数も増えていきますので、生徒一人一人を大切に日々関わっていますが、それでも保護者の方が期待している支援ではないようなこともあるかもしれません。すべての要望に応えることは難しいですが、合理的な配慮という観点から、できることは対応していきたいと思いますので、担任等にお知らせください。配布物のデジタル化については、検討します。

○昨年1学期のアンケート回答で「生理期間中に少ない休み時間でトイレに行き、チャイムアウトして叱られた」という事例が紹介されていましたが、この事態は改善されましたでしょうか？保護者として憤りを感じた事例でした。中学生女子は「生理初心者」です。生理期間中の対処には大人女性の倍の時間がかかります。予測もつかないので失敗もあります。授業時間が延びて、次に教室移動がある場合、わずか数分でトイレに行かなくてはなりません。混雑していたら焦って失敗します。この不安は男性教員には理解不可能でしょう。そんな中、クラスメイトの前でチャイムアウトした理由を述べなくてはならないのでしょうか？女子には酷ですし、女性特有の事情を責める大人の姿を子供たちに見せたくありません。該当する先生にはしっかり反省していただきたく、また女子生徒がトイレから戻ってくるのが遅い場合は察していただきたいと思います。

【回答】昨年度ご意見をいただき、教職員で共有しました。

- 1 休み時間を確保するために授業を時間内で終わらせること
 - 2 上記のような不安があり、チャイムアウトが気になるためにトイレに行かないなどということがないように、チャイムアウトの点検は継続するものの、無理はさせない（廊下を走る危険、生理などの体のこと）
- 今回のご意見をいただき、さらに2学期以降の対応について確認します。

○お休み中オンライン授業を受けましたが、黒板は映らず声も聞こえにくくとても授業を受けるような環境ではありませんでした。形だけのオンライン授業の取り組みではなんの意味もなさないのでした？と感じました。

【回答】オンライン授業については、学習者用端末で、教室の黒板横から先生や黒板の様子を配信することが今の環境では限界です。できるだけ、オンラインで参加している生徒にも見やすいようにしようとしています。難しいところです。オンライン授業の目的は、やむを得ず学校に登校できない生徒に対して、授業の様子を見ていただくことで、学校に復帰した際に安心して授業に参加できるようにすることだと考えています。ご理解いただければありがたいです。

16 【感染症拡大防止の対策等】

○子どもが毎日マスクを着用して学校へ行っています。親としてはもう外してほしいと思っていますが、子どもは未だに「するのが当たり前」という感覚のようです。これからの季節、熱中症も心配です。元々大人や学校にマスク着用を強くすすめられたのがきっかけでマスク依存になってしまったのだから、「もう必要ない」「熱中症のリスクがある」というメッセージもある程度強く発信しないとマスクを外すきっかけにならないと思います。この夏はコロナが5類に引き下げられてから初めての夏で、子ども達がマスクを外すチャンスだと思います。コロナやその他様々な感染症が流行っていますが、それに怯まず子ども達に脱マスクを勧めて欲しいです。

○もういい加減、マスクは着用しないよう、生徒たちに徹底してください。他の場所ではマスクをしないのに、学校という場所だけマスクが外せない、異常だと思います。

【回答】マスクの対応については、学校でも「外してよい」ということは伝えていますが、これについては、保護者会でも保護者の皆様に「ご家庭でもマスクの取り扱いについては話題にさせていただき、マスクなしのコミュニケーションが取れるようにしていけるといいと思っている」とお伝えしました。しかしながら、マスクについては、熱中症が心配される場面や運動するような場面を除けば、基本的には「個人の判断」ということになります。教職員も積極的にマスクなしで教育活動を進めていますが、8割以上の生徒がマスクをして学校生活を送っています。この夏でマスクなしの生活に慣れた生徒たちがマスクなしでの学校生活を送ることに違和感を感じなくなることを願っています。

17 **【施設面】**

18 **【その他】**

○制服を他校のようにブレザーにしてほしい。何十年も変わっていないようなので、開校50周年を機にリニューアルしてほしいです。

【回答】標準服の見直しについて、現在のところ具体的に何か進んでいるということはありませんが、開校50周年という節目ということで一つのきっかけにはなると 생각합니다。コミュニティ・スクール（学校経営協議会）でも話題にして、検討をしたいと思っています。

○中学生なので、先生方からきいた話をきちんと理解し責任を持つ年齢なのかも知れませんが運動会など保護者に対して内容が薄かったためこまりました。例えば親の昼食はどうするのか、など。メールの時代かもしれないがもう少し細かい情報が欲しいです。

○3年生になると、1年間を通して定期的に進路だよりは生徒を通して配布していただきますが、お恥ずかしいことですが子供から親の手に届かないことがしばしばあり、入試前のかかなり重要な内容もあります。生徒に配布と同時に、重要な進路だよりなどは、メールで保護者に添付していただくと大変助かります。

【回答】情報発信の方法については試行錯誤しながら進めています。ペーパーレス時代になっていますので、通知文・案内文等はメールを活用させていただいています。ホームページに掲載したものをスクールメールで周知し、リンク先のホームページを見ていただいている形です。

個人情報載る学年だよりや学級だよりはホームページに掲載することは難しいため、この形をとることができません。スクールメールの添付機能がありますが、鮮明な画像を送ることは難しいです。

今後も情報発信については、紙とメールを併用していくことになると思います。場合によってはその両方を活用することもあります。保護者の皆様に混乱させることのないように情報発信をしていきたいと思っています。

○先生方へのやり取りで時間帯によっては、いつ、子供の相談をしたらいいか迷うことが多々あります。負担がない方法があればと思います。

【回答】先生によってそのあたりの時間については違ってきます。まずは、生徒が下校してから16:00頃にご連絡をいただき、その後どのような時間がよいか確認していただけるとよいと思います。緊急の時などは、遠慮せずご連絡ください。

○生徒向けのアンケートは無記名とのことですが、学籍番号を記載するとのことでは本音が書けないと言っています。

【回答】アンケートの内容によって、記名なのか学籍番号を記載するのか無記名なのか判断しています。

○女子生徒への内科検診について:男性小児科医が診察する際は、下着着用または体操服着用での内診を特にお願ひします。思春期のみならず、成人や高齢者であろうと、直接胸を見たり触れたりせずに下着の上などから聴診器をあてて内診することができます。男性小児科医が思春期中学生を胸を直接見る必要は決してありません。どうか急ぎご検討くださいますようお願いいたします。

【回答】 本件については、他校からも同様のご意見があり、小平市教育委員会と小平市医師会とで協議をしているという報告を受けています。次年度以降どのような対応になるかということについては今のところ連絡はありません。本校からもこのような意見があったことは小平市に伝えます。

○学校公開などへ行っても、挨拶を全くしない職員の方多くいらっしゃいます。

○学校のセキュリティの件です。校門がいつも開いていて誰でも簡単に学校に入ってしまう状況が不安です。何か事件が起きてからでは遅いので、もっと厳しく対策を考えてもらえたらと思います。

○概ね安心して通わせることができ、先生方には感謝しておりますが、さらなる学習環境向上のため、意見させていただきます。一部の先生ですが、厳しさと理不尽を混合されているようです。また、先生の機嫌による言動のブレも感じられます。先生も人ですので、その日その時間のモチベーションに波が出てしまうのも分かりますが、どうか生徒に顔色うかがわせたり、機嫌を取らせたり、厳しさではなく理不尽さに耐性をつけさせたりなどないよう、プロ意識を持って臨んでいただきたいと切に願ひます。

【回答】 ご指摘いただきありがとうございます。教員という仕事は、常に生徒をはじめとして、地域や保護者の方から見られている、そして先生が生徒の見本となつてほしいという願ひがあるということに改めて感じます。また、危機管理については、昨今信じられないような凶悪な事件が起きていますので、もう一度検証します。

○花小金井小学校の出前授業で性教育について講演会があったと聞きました。中学校でもやってほしいです。

【回答】 昨年度から同様のご意見をいただいています。

1学期のアンケートで同様のご意見に対して以下のような回答をしています。

「性教育の必要性については、感じています。現状では、保健体育の授業の中で体のしくみなどについて学習しています。今後、生徒の発達段階を踏まえたうえで、講演会など検討していきます。」

今年度中にも3年生を対象とした性教育につながる学習を行います。

実際に昨年度の3年生を対象にして講師の方をお招きして性教育に関わる講演会を実施しました。引き続きこのような取組を進めていきます。

○ホームページですが、給食以外にも授業や普段の活動についてもう少しアップしてもらえると嬉しいです。悲しいかな思春期男子は学校のことを話したがりません。先生は写真を撮ったり更新したりと大変とは思いますが、よろしくお願ひします。まだまだ学校へ行く機会が少なく、わからないことが多くて申し訳ありません。

○【開かれた】ホームページを覗くと給食の写真が多い印象を受けました。

【回答】 ホームページの更新については、学校の様子を地域や保護者の方に知っていただくうえでも必要なことなので、これからもできる範囲で更新するようにしていきます。

○いつもお世話になっております。

学校公開の時に気になったことを書かせていただきます。

応用問題をみんなで解くという場面で「〇〇くんが解けていたらみんな大丈夫だと思う」という発言がありビックリしました。本人も周りも笑っていて嫌な雰囲気にはなっていない様にはみえましたが、軽い冗談としてもよいものとは思えませんでした。教え方は上手だったのでとても残念に思いました。授業を楽しく盛り上げる方法は他にもあると思います。

【回答】ご指摘ありがとうございます。学習は他者との比較ではないということで、様々な回答をしている中で、このような対応があったというのは申し訳なく思います。私たち教師のことばはとても大切なので、生徒の気持ちをしっかりと考えながら対応するようにしていきます。

○2年生の最後に行ったソーラン節、本番の映像を配信して欲しかったです！それか、授業公開などで行うなどしてほしかったです。学校に問い合わせましたが、音信不通で残念です。去年は配信してたとか、〇〇先生は限定で見れてたとか、毎年違ったりクラスの先生によって違うのが嫌だなと思いました。保護者会に行けない事もあるので検討してください！コロナの影響で行事が減っていたので余計に思ったのかもしれませんが。

○クラスによって行事のクラスだよりがカラー印刷だったりするの、なんで？って思います。共通にして欲しいです。

【回答】お問い合わせいただいていたことにお返事をしていなかったというのは大変申し訳ありませんでした。行事の動画配信については、必ずできるものではありません。学校の教育活動が昨年度より制限が少なくなり、多くの行事を実施することができるようになりました。ほとんど保護者の方に学校での様子を見ていただくことができなかった2、3年前の状況と、昨年度や今年度は違っているので、このような動画配信等の対応も変わってきています。できるだけ生徒のがんばっている姿を保護者の方に見ていただきたいという気持ちは私たち教員も同じです。学校便りのカラー印刷等についても、できることならカラーで写真を載せたいと思っていますが、印刷費用の関係でそれが叶いません。基本的に通常のお便りではカラーでは印刷していません。クラスや学年で対応が異なるようなことがないようにしていきます。

○こういう形のアンケートをとられてもわからないまま回答しておりますし、正しい結果が得られるとは思えないのですが…その結果を元に何かをすることは、かえってズレていくこともあるように思えてしまいます。アンケートで様々な考えを拾うのはいいことであるとは思いますが。

○設問に対し、実態を反映したできるだけ精度の高い回答をするには学校を訪問する機会を増やすのが望ましいと思いますが、実際にはなかなか実行できていません。一方、HP、印刷物などにより相当程度カバーする事は可能だと思っています。できるだけ心掛け、実態を把握できる様努めたいと思います。

【回答】学校評価アンケートを真摯に受け止めていただき感謝しています。すべての項目で回答することは難しいと思います。ご回答される保護者の方が感じられていることについて回答していただければ結構です。回答の選択肢には「わからない」というものがありますので、回答に困るような項目については「わからない」を選択していただければ結構です。また、自由意見については、気になることを記載していただくことで、学校が見えていないことに気付くことが多く、また、実際には取り組んでいることが、地域や保護者の方に伝わっていないということを知ることがあります。ご協力いただきありがとうございます。

ご協力ありがとうございました。